



# 光星 甲子園Vへ闘志

## 本社訪れ抱負

第101回全国高校野球選手権大会（8月6日開催）に出場する八戸学院光星高校硬式野球部が29日、青森市の東奥日報社を訪れた。東北勢初の優勝に向けて、ナインは闘志を燃やした。

強力打線を武器に県大会を勝ち上がった同校は、決勝戦で春の東北王者聖愛を12―4で圧倒した。

29日に訪れたのは小野崎龍一校長、大澤一實協賛会長、仲井宗基監督、小坂貫志部長と選手20人。河田喜照執行役員編集局長らと懇談した。

仲井監督は「100回やってもなかなか開かない甲子園での健闘を誓った。学光星ナイン」

白河の関、令和という新しい時代に、重い扉を何とかこじ開けたい」と強調。大会のキーマンについて「目替わりでヒーローが出てきたチームが勝ち上がっていくと思う」としながらも「県大会で登板が少なかった主戦後藤（丈海）、クリンアップ3人の活躍が一つのポイント」と語った。

投手で活躍した下山尾大選手（弘前四中出）は「県大会は投手、野手両方で100%の力を出せた。甲子園では一日でも長く今のチームメイトと野球がしたい」と話した。

**甲子園練習 光星は初日 来月1日開始**

日本高野連は29日、第101回全国高校野球選手権大会（8月6日から16日間・甲子園）に出場する代表校の甲子園練習の日程を発表した。初日の8月1日は午前8時に始まり、今春の選抜大会4強の明石商（兵庫）や初出場の飯山（長野）など11校が汗を流す。本県代表の八学光星は同日午前8時20分開始。練習時間は各校20分ずつ。2、3日の日程は決まり次第、発表される。

練習順は次の通り。

▽8月1日 花巻東（岩手） 八学光星、北照（北海道） 旭川大高（北海道） 秋田中央、沖縄尚学、飯山、山梨学院、日本文理（新潟） 明石商、履正社（大阪）

武岡龍世主将は「今年のチームは仲が良い。全員一丸となつて戦つ」と抱負を語った。

選手たちは同日、県庁で三村申吾知事にも出場を報告した。

（吉田希望）